

アンリ・カルティエ＝ブレッソン

20 世紀を代表するフランスの写真家。パリの美術学校に入学してキュビズムの画家ロートに絵画を学ぶ。本格的に写真に取り組んだのは、当時はまだ珍しかった小型の 35mm カメラを手に入れ、スペインやメキシコに撮影旅行に行ってからである。1947 年、ロバート・キャパらと写真家集団「マグナム・フォト」を結成し、有名雑誌の依頼でヨーロッパ各地やアメリカで取材撮影をしている。1952 年、報道写真ではない最初の写真集「決定的瞬間」を出版し、その中でブレッソンは、「私にとって写真とは、ある出来事が起こった瞬間に、その意義だけでなく、完璧な構図をも同時に認識することなのだ。それにより、その出来事にふさわしい表現を与えることができるのだ。」と述べているように、ブレッソンの写真作品は、絵画で学んだ秩序とリズムによる美しい画面構成に特徴がある。